

No.とプログラム名	No.34 図書館のお仕事を体験しよう！
実施日・回数	8月7日（水） 9：30～11：30、13：00～15：00 計2回実施
会場	【戸塚区】 男女共同参画センター横浜 情報ライブラリ
参加児童数	19人（午前8人、午後11人） ※応募者多数のため定員を増やしました
企業・団体等名	男女共同参画センター横浜
参加の目的 (150文字程度)	小学生及びその家族の男女共同参画センター横浜と情報ライブラリについての認知度を高め、利用のきっかけをつくるため。また、参加者に男女共同参画社会やジェンダー平等について啓発を行うため。

■ プログラム内容

お仕事紹介（男女共同参画センターおよび情報ライブラリの業務内容についてのレクチャー）、本の貸出・返却作業や、本を紹介するためのPOP作成、本の展示作業 等

■ 当日の流れ（簡単に記載してください）

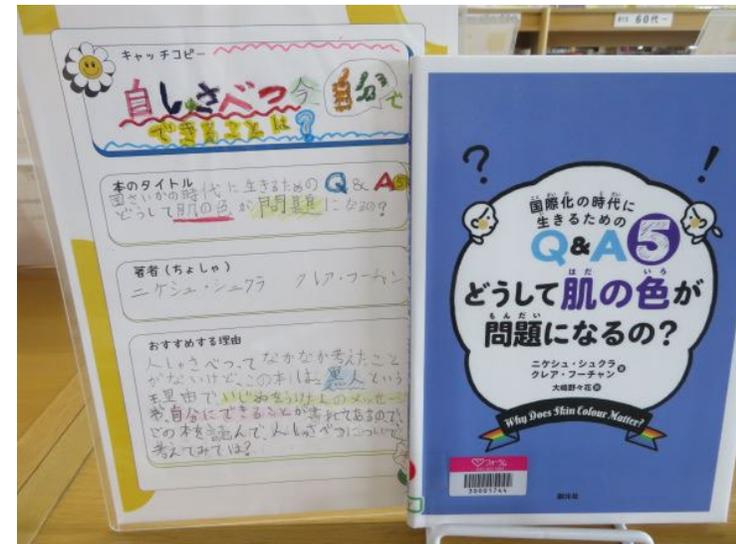
1. オープニング あいさつ（スタッフ・参加者の自己紹介）
2. ライブラリツアーと「私のおすすめの一冊」をえらぼう
3. 本の貸出（かしだし）・返却（へんきやく）をやってみよう
4. POP（ポップ）をつくろう！
5. 発表と展示をやってみよう
6. 振り返りの会・修了証授与



本の貸出と返却作業を行っている様子

■子どもたちの感想

- 本の貸出や返却の仕方がわかって、体験して楽しかった。
- 学校の図書室と少し違って面白かった。
- 図書館の仕事を始めて知ることができた。
- 本の楽しさを改めて知り、勉強になって楽しかった。
- POPづくりが大変だったので、いつも作っている職員さんに感謝した。
- 本の置き方を工夫しているんだなと思った。



おすすめしたい本のPOPを作成している様子

■ 企業・団体の気付きや感想など

みなさん楽しみにしてきてくださった様子でした。

本が好きな子どもたちが多い印象で、たくさんの本の中から1冊選ぶのに迷っていたり、決めた一冊のPOP作りを熱心に取り組んでいました。図書館員体験は普段立ち入れないカウンター内に入っての作業で、子どもたちのわくわく感が伝わってきました。POP作りでは、本の選択やコピーのつけ方から各自の主体性がうかがえました。私たち大人による「子どもらしさ」の思い込み・押しつけについて、考えさせられる機会になりました。



図書カウンターでの貸出と返却作業を教えている様子